

『EVバス実証実験 東芝と共同、3年かけ』

オリコンサル  
**EVバス実証実験**  
**東芝と共同、3年かけ**

オリエンタルコンサルタンツは、既存のコミュニティーバスを電気自動車(EV)化する実証実験を、2012年度から3年間実施する。環境省の12年度地球温暖化対策技術開発・実証研究事業に、東芝と共同で応募して採択された。東京都港区のコミュニティーバス「ちいばす」の路線を対象に、東芝が開発した二次電池「SCiB」と定置用蓄電池「スマートバッテリー」、

オリコンサルが構築する交通運用プランなどで、バス事業者が導入しやすいEVバスのソリューションを検証する。事業は低炭素型公共交通として、①コスト面を含め社会

実装が可能なEVバス②出力不足となった蓄電池をリユースして「スマートバッテリー」の実用性——を実証する。

オリコンサルは低炭素型公共交通を普及するため、異業種企業などと連携を深めつつ、国内外で交通ソリューション事業、スマートコミュニティー創造事業を拡大する方針だ。